

日本メンテナンス工業会 会報

Japan Association of Maintenance and Service Contractors

通巻

第105号

Vol. 31, No. 1
2021.1

Maintenances
for the Future

世界をメンテナンスが
支えています

日本メンテナンス工業会は、
メンテナンス・サービス企業の同業者団体として
1990年に設立され、総合、機械、電気、計装など
各分野の信頼できる企業が会員です。

設立30周年 特別企画

日本メンテナンス工業会 設立30周年に寄せて

特別記事

「メンテナンス・レジリエンスOSAKA 2020」出展報告

掲載企業

JFEプラントエンジニアリング/日建リース/日綜産業

〔人材育成〕メンテナンスマイスター賞 受賞者紹介

〔技術報告〕メンテナンス技術賞/奨励・普及賞 受賞者紹介

調査統計

会員企業概要（1年調査：2019年度データ、長時間労働アンケート結果）

特集・プラント業界で活躍するリケジョ

一現場作業者として

アズビル株式会社

発行：日本メンテナンス工業会

目 次

[巻頭言]			
ウィズコロナ、超スマート社会	植田 寿之	1	
[年始あいさつ]			
	高田寿一郎	2	
[特別企画]			
日本メンテナンス工業会設立 30 周年にあたって	中村 公一	3	
[JAMSEC News]			
会員各社の動静／「メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020」結果報告		6	
[特別記事]「メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020」出展報告			
多様な設備ニーズにお応えするエンジニアリングカンパニー	JFE プラントエンジ株式会社	7	
メンテナンス・レジリエンス OSAKA2020	日建リース工業株式会社	10	
メンテナンス現場で活躍するプラワンシリーズ	日綜産業株式会社	15	
[特別記事・人材育成] メンテナンスマイスター賞受賞者 紹介			
・株式会社ウィズソル	福永 正志氏	18	
・山九重機工株式会社	林 紀幸氏	22	
・JFE プラントエンジ株式会社	水谷 寿男氏	25	
・横河ソリューションサービス株式会社	丸茂 晴晃氏	30	
・有限会社重谷工業	林 寿光氏	35	
・アズビル株式会社	江口 忠登美氏	38	
[特別記事・技術報告] メンテナンス技術賞／メンテナンス奨励・普及賞受賞者 紹介			
・株式会社高田工業所	中野 正大氏	43	
・アズビル株式会社	小杉 光春氏	48	
[随筆]			
今日までそして明日から	日揮株式会社	塩田 修	54
[特集・プラント業界で活躍するリケジョ]			
一現場作業員として	アズビル株式会社	山岸 祥子	56
[メンテナンスの進化を支える者達]			
より安全に！	高田プラント建設株式会社	渡邊 大志	58
信頼される会社づくりのために	東興機械工業株式会社	鈴木 啓太	59
工場の安定操業をささえるという使命	株式会社日新メンテナンス	奥田 健太	60
コミュニケーションを通して	株式会社ユウコウ	岡本 毅	61
[ものづくり・メンテナンス余話]			
三年半の事務局長としてのつれづれ		金ヶ江真一	62
[Coffee Break]			
お手軽アウトドア	株式会社明電エンジニアリング	野尻 隆二	64
[調査統計]			
会員企業概要（1 年調査：2019 年度データ、長時間労働アンケート結果）		調査統計委員会	66
[会員会社紹介]			
オークラサービス株式会社／協和機電工業株式会社／桑原電工株式会社／ 三興コントロール株式会社／綜研テクニクス株式会社／株式会社東新製作所／ 藤田テクノ株式会社／丸三機械建設株式会社／渡辺技研工業株式会社			75
[事務局より]			
「会報」掲載原稿の公募について	ほか		80
日本メンテナンス工業会 頒布資料申込書			82
日本メンテナンス工業会 会員名簿			83

■ 巻頭言 ■



ウィズコロナ、超スマート社会

植田 寿之
アズビル株式会社
理事 サービス本部副本部長

皆様、新年あけましておめでとうございます。
令和3年が、良い年になることをお祈りいたします。
去年は、東京オリンピック・パラリンピック開催を楽しみに迎えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今までの日常が様変わりした1年になりました。そのような中で、異常気象による豪雨災害なども発生しました。引き続き困難な状況におられる方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大は、人の日常的な行動やコミュニケーションに大きな影響を及ぼしました。（フィジカル・ディスタンス）
また、医療や経済に大きな打撃を与え、社会活動に大きな影を落としました。故郷への帰省や旅行、歓送迎会などの宴会も自粛する状況でした。不要不急の外出や対面を控え、リモートの活用などにより社会活動も大きく変化してきています。三密回避、マスク着用、こまめな手洗いは治療法が確立して収束するまでは、継続することになりそうです。

このようなコロナ禍、緊急事態宣言の中でも社会インフラ・産業は事業継続を求められました。生産現場の安定稼働を支えるプラントメンテナンスも同様に、現場対応を求められました。安全を最優先に、日常保全や定修など感染予防対策を現場関係各社で一丸となって協力し、現場対応を継続しました。

去年は特に定修の多い年で、現場作業員や地域住民の安全に配慮して工期延長、作業縮小や一部工事中止など計画の変更もありました。日々の動員数の抑制や徹底した感染予防対策などを行い、働き方改革も実現しながら実施されました。

プラントメンテナンス業界も人財不足が深刻な状況になってきています。少子高齢化による労働人口の減少による部分もありますが、緊急事態宣言による移動制限の影響を受けるケースもありました。

このコロナ禍で、技術革新が加速するとも言われています。この技術革新は、より安全で効率的かつ快適な「超スマート社会」を実現しようとしています。（Society5.0）

「超スマート社会」を支えるものづくりの現場もまた「超スマート工場」へと進化していかなければなりません。ロボット、AI / IoTを活用したものづくりの現場を支える、メンテナンス技術も同様に進化していきます。（スマート保安）

弊社は、1906年の創業以来、計測と制御の技術を追求め、独自のソリューションをお届けしてまいりました。2012年4月に社名を株式会社 山武からアズビル株式会社に変更し「人を中心としたオートメーション」の探求を通じて、現場の課題解決に貢献する企業集団になることを目指しています。

製造現場でビッグデータやAIを活用すると、より安定・安全な操業が見えてくると考えます。設備のライフサイクルを通じて安全・安心を支える製品・サービスを提供してまいります。

今後も、製造現場の安定・安全な操業を支えるためにプラントメンテナンス業が重要な役割を果たしていきます。工業会会員企業の皆様の活動が社会の持続可能な発展を実現すると共に、未来のプラントメンテナンス業が人を中心とした活力ある、働きがいに満ちた、若い人が働きたいと感じる業種になっていることを祈念して巻頭言といたします。